

大規模駐車場

空地

植栽

建物

道路

境界

パブリック

コモン

パーソナル

朝市など積極的に転用



仕組み

つながり

風景

営み

愛着

安心

来訪



車社会である塩尻において駐車場は不可欠なため、中心市街地にも多く点在しています。舗装され管理されているケースが多い一方、砂地や草地に車が停められているところも。さらには塀や柵が設置されておらず、通り抜けられるものも複数存在します。こうした駐車場は街並みからすれば、建物が建っていないことから“空き地”とも捉えられ、周辺の自然を感じられる空間にもなっています。こうした、空き地としての要素が強く利用率が低い駐車場を使い、朝市を開催するなど、積極的な転用を提案します。また大規模駐車場であれば、舗装に用いるインターロッキングブロックとの間に植え込みをしつらえたり、低い塀を設置して低木を植えるなど、植栽による修景を行います。また、規約期間外には、塩尻市が市の花であるキキョウの苗を渡して栽培を奨励し、駐車場のなかで利用されていないスペースとの差別化を図ります。